会社や職種に関係なく
一人でも誰でも入れる
労働組合
千葉スクラムユニオン

スクラム

2017年3月17日 第34号
発行：千葉スクラムユニオン
千葉市中央区祐光 2-5-8
ハイツカメリア 202 号
TEL/FAX：043-221-2525
E-mail：t-oyana@lapis.plala.or.jp
http://scrumunion.web.fc2.com/
発行責任　小柳俊朗　編集責任　小柳俊朗

JR30年を問う「国労全国安全キャラバン」2017年春闘勝利！
JRの安全輸送と地域公共交通を守る

3月3日（金）午後6時30分から千葉市民会館小ホールで200名の参加者が結集し成功りに終りました。
主催者を代表して、樫尾国労千葉地本委員長が挨拶を行ったあと、来賓として、自由党、社会民主は、党、新社会党、日本共産党が連帯の挨拶を行いました。
講演に移り「ＪＲ30年、交通政策基本法をどう運動に活かすか」と題して、横田社民党全国連合・企画局長の講演を聞きました。
「ＪＲ30年」の項では、①問題は解決されたのか？
・分割・民営化のスローガン：「赤字をなくす、借金をなくす、地域に密着した鉄道にする」・「国民の足が国民の手に戻った」・「国鉄が民営化されて鉄道事業がなくなったでしょうか？電電公社が民営化されて電話がなくなったでしょうか？むしろサービスは良くなったと思います。郵政三事業を民営化したからと言って三事業がなくなる心配など マガジン）
②30年のひずみ
・徹底した・器械化・下請け化の推進、監査周期の改悪等、　・ＪＲ各社間の格差拡大　・鉄道サービスの改悪：ダイヤ改悪、路線廃止、水飲み場から自販機へ、窓口の短縮・閉鎖、無人化・ワンマン化、　・事故・輸送障害の多発
③ＪＲ「資本」としての自立・展開～徹底した合理化と利潤優先の姿勢
・国民の共有財産は山分け、過酷の責任は国民に押し付け儲うけられる分野を資本に解放、　・市場競争に耐えうる鉄道経営、特殊会社から完全民営化へ、　・「官の経営」から「民の経営」への脱皮⇒新事業を数多く展開し、資本として生き残りと将来の活路を見出そう、　・利潤拡大と競争勝利、資本の論理の徹底のための「精神革命」⇒「会社の*発展は自らの幸せ*」、*・ＪＲが捨てた「公共性」と「安全」：公共企業体＝企業性（利潤追求第一）⇒地方や不採算部門は切捨て、衝撃的な福知山線脱線事故*

④国鉄分割・民営化、ＪＲ30年の検証を
・全国に広がる公共交通に求められる安全性と利便性の確保は分割された民営会社システムによって可能なのか、・国はＪＲ任せでいいのか、・いまこそ公共性とは何かを問い直し、ＪＲを公共交通として再生させる取り組みを。（「ＪＲ30年、交通政策基本法を同運動に活かすか」（抜粋）

引き続き、ＪＲ職場からの報告として「駅職委託化の中で、ＪＲ駅は無人化がすすみ、40歳代の後継者が欠員のなかで、技術の後継者がいない。経験をしている国労労働者はパソコンで委託労働者の報告を受けて、データー

を投入するだけで、現場を見ていないため、ＪＲ東日本鉄道会社内で、いつでも大事故が起きても不思議ではないとの報告がありました。

時間の都合で、文面を短く読み上げ、集会宣言が了承されました。

まとめと・閉会あいさつは
「国鉄闘争と経験と教訓を活かす千葉県共闘会議」の堀川議長が締めくくり、松田書記長の団結頑張ろう！で散開しました。

安倍政権の支持率 61，7→４０％台へ

国会前で市民ら抗議集会
森友学園への国有地売却問題に抗議する集会が３月５日、国会前であり、市民ら 300 人（主催者発表）が「政治の私物化、絶対許すな」「8 億の税金はどこへ行った」と声を挙げた。
主催したのは、３月１日に発足した「森友 10 万人デモ実行委員会」。
昨年の参院選で野党共闘を呼びかけた市民団体の代表ら５人が心で、会員制交流サイト（ＳＮＳ）などで賛同した人たちが集まった。
参加者たちは「いりません！！安倍晋三記念小学校」と書いたプラカードを掲げ、真相究明を訴えた。呼び掛け人の一人の田中正道さん（６０）は取材に「(国が売却の際に割り引いた）8 億円で保育所がいくつも増やせる。政府が幕引き引きにかかっているので民意の広がりを見せたい。」と話した。
実行委員会は３月 19 日にも国会周辺で大規模な集会の開催を目指しており、民進、共産、自由、社民の野党４党にも協力を求めるという。（東京新聞・１７年３月６日）

巨悪と凡庸な悪

本年のコラム：山口二郎

先々週の本欄で、愛国心は無頼漢の最後の避難所と書いたが、森友学園をめぐる疑惑の展開はそのことを実証している。
愛国教育を掲げた怪しげな学校法人が進める小学校開設に向け、財務省、教育委員会、国土交通省などの官僚組織は狡知を弄して国有地のただ同然での売却を進めた。
安倍首相を筆頭に愛国教育に共鳴していたはずの愛国心旺盛なる政治家たちも、事の真相が明らかになるにつれて、眉をひそめたふりをして、自分とは関係ないと言い張り出した。なんという無節操、破廉恥。「似非愛国教育の本質を見抜けなくて不明を恥じる」くらいのことは言えないのか。
もう一つ明らかになったのは、わが国の官僚の職業倫理の崩壊である。
杓子定規とは官僚に対する悪口ではあるが、同時に官僚の誇りでもある。政治家をはじめとする力の強い者が、法を曲げて優遇をもとめてきた際、法を盾に横車を拒むことは官僚の使命だったはずである。
国会質疑では関せずの不誠実な答弁を繰り返す財務省理財局長をみていると、ナチスドイツ時代に上からの命令に従順に従い、ユダヤ人虐殺に加担したアイヒマンの生まれ変わりかと思う。自分の頭で考えることを放棄し、自分等に累が及ぶと思えば、証拠となる文書もさっさとと隠滅する。
この事件は、巨悪と凡庸な悪の狂騒曲だ。
（法政大教授）
（東京新聞・１７年３月５日）